

# シノキス

## 誰が紅で彩る

### ◆「VIP の設定」

「天運」の高かったものから次のことに気づく。

どこのマフィアのボスが「外界」で命を狙われたらしく、全財産を持って夜逃げ同然、時計塔経由でこの「街」に逃げ込んできた。事態が収束するまでこの「街」をシェルター代わりにするつもりらしい。

自分たちのホームを金持ち風情が防空壕扱いだと？ 笑わせる。しかも「街」の中では自分が一番偉いとでも言わんばかりにいきりたち、我が物顔で闊歩する始末。

お前が逃げ込んだこの「街」が、「外界」より恐ろしい場所だと教えてやれ。

今回のVIPはこのマフィア、「カモーレファミリー」だ。

……おっと、時計塔からもう一人、女がやってきたようだが。

### ◆「獲得目標値」

「VIPの残り利権数」：目標値 10（智力）

「利権獲得の際の目標値」：目標値 10（智力）

「ジョーカーの表裏効果」：目標値 13（智力）

「ジョーカー獲得の際の目標値」：目標値 13（色香）

### ◆「ジョーカー」「死のキス」

ある女が君に依頼してくる。

彼女は妖艶な女だ。しかし身なりはよく、動作も無駄なく洗練されていて、“いいとこの令嬢”といった感じに見えるだろう。そう、見えるだけだ。

彼女は令嬢と言うには、自分を常に警戒し、その目に殺意を湛えすぎている。

……こいつ、令嬢などではない。彼女は自らを「ジェーン」と名乗る。“ジェーン・ドウ”。馬鹿にしている。

そんな女が君に持ちかけたのは、殺しだ。ある男を殺してほしいの。そう告げたのは、そう、君が今狙っている“VIP”だ。

女が手渡してきたのは、掌に握り込めるほどの小型ケース。一見、口紅のように見えるが……。君がそれを開けてみると、真っ赤に塗られた銃口が、君をじっと見つめていた。

今回のジョーカーは、口紅型 4.5mm 口径ピストル、通称「死のキス（デスキス）」だ。

表効果：女性 PC は利権獲得の際、達成値に「+2」の修正を得る。性別に関わらず初期入手時「財」を「2」獲得する。

裏効果：性別に関わりなく、利権獲得の際にVIPの利権とは別に利権を「1」余分に手に入れることができる。ただし、この効果は一度でも「ジョーカーの表裏効果」と“見た”者にのみ発動する。

もしこの効果が全PCに見られた時、最後にジョーカーを持っている者は利権を「-2」される。

### ◆「VIP の利権」

VIP の利権数：12

シナリオ時間目安（キャラシ作成を除いて） NPC なし 3 時間 NPC あり 4 時間半

利権獲得の際の目標値 智力 1+2d 暴力 3+2d 色香 5+2d

#### ◆「選択ルール NPC」

ジェーン

暴力3 智力4 色香7 天運3

所持利権数6

VIPに雇われた用心棒、誰かと思えば、ジョーカーを所持しているPCにはわかるだろう。そう、あの女だ。

ジェーンはどうやら、スパイとしてVIPに潜入し、用心棒として使われているらしい。

「すべてが終われば、殺すわ。きっとね」

彼女はそう不敵に笑う。

#### ◆「エンディング」

エンディングは各PC、ジョブによって展開するといいたろう。最も利権を獲得したPCは、カモーレのボスがこの「街」に持ち込んだ財産を得ることになる。屋敷や調度品、装飾品の類まで、全てが彼又は彼女のものとなるだろう。

ジョーカーを最後に所持しているPCだけ特別の展開をする。

①全員にジョーカーの裏表効果が公開されなかった場合で、ジョーカーがPCにある場合

最後にジョーカーを持っていたものに、カモーレのボスを殺させるといいたろう。デスクスを用いてVIPを殺害する描写をする。もし裏切り者であれば、VIPに利権や情報カードなどを返還し感謝され、去っていくその背に発砲してもいいだろう。

②全員にジョーカーの表裏効果が公開されなかった場合で、ジョーカーがPCにない場合

NPCがカモーレのボスを撃ち殺す。

③全員にジョーカーの表裏効果が公開された場合

NPCはスパイだ。その任務遂行は極秘裏に行われなくてはならない。しかし、情報が拡散されてしまった。彼女は最後にジョーカーを持っているものにこう言う「ここで殺されるか、それともあなたは何も覚えていないのか」

④ジョーカーの表裏効果もジョーカーも、VIPから動かなかった場合

ボスが殺された噂を聞く。興醒めだ。君たちは彼らから手を引くもいい、残党狩りをするでもいい。

これに悪名点を配布してセッション終了となる。

#### ◆「ギミック」事の全貌

あるマフィアは、「外界」でCIAに狙われていた。「外界」は「街」ほど融通が効かない。そこで好き勝手すれば淘汰されるのは自明の理だろう。そのマフィア、カモーレが「街」にやってくるだけなら彼らも何も言わなかった。

だがしかし、この世には頭のいいやつだけが生を受けているものでもない。カモーレは愚かな部類の人間だった。頭はいい、しかし同時に愚かだったのだ。

「外界」であればやつは恐れられ、CIAやFBIなどの大きな機関でなければやつを止めることはできなかつたろう。やつが失敗したのは、逃げ込む場所に「街」を選んでしまったことだ。

「街」では、愚かなやつから食い散らかされていく。

かくして、カモーレはボスを殺され、迷走。統率を失った組織に、ハイエナが忍び寄る。死に物狂いで時計塔に逃げ込んだ構成員も、VIPはボスだ、門前払いを食らう。その後の彼らを知るものはいないだろう。どうせ食われてしまった。この、「街」に。

……どうして俺がそれを知っているかだって？ さあ、どうしてだろうね。

このシナリオをご覧いただきありがとうございます。今回この「シノキス」を作成させていただきました、なでしこと申します。このシナリオは初心者の方でも回しやすいよう、比較的シンプルな作りとなっています。ですが、シンプルながらどうすればストーリー性を強く持たせられるかと考えたもので、ジョーカーの存在が大きいシナリオでもあります。

もしジョーカーが長くVIPに留まる場合には、街イベント「道化」で強制的に動かしてしまってもいいかもしれません。

また、モチーフが口紅型ですので、女性PCの方が気持ち的にRPが楽しめると思います。PL募集の際には一言「女性PC推奨」とあればいいかもしれません。

自PCである「藤堂あやめ」が本当に好きで、彼女が映えるようなシナリオを作りたいと思った末に出来たのがこのシナリオです。雰囲気やRPの幅が広げられなかったりするかもしれませんが、ピカレスクロマンTRPGがお好きな方のフェチズムを抉るようなものに仕上がったのではないかとと思います。機会があればぜひ回してみてください。